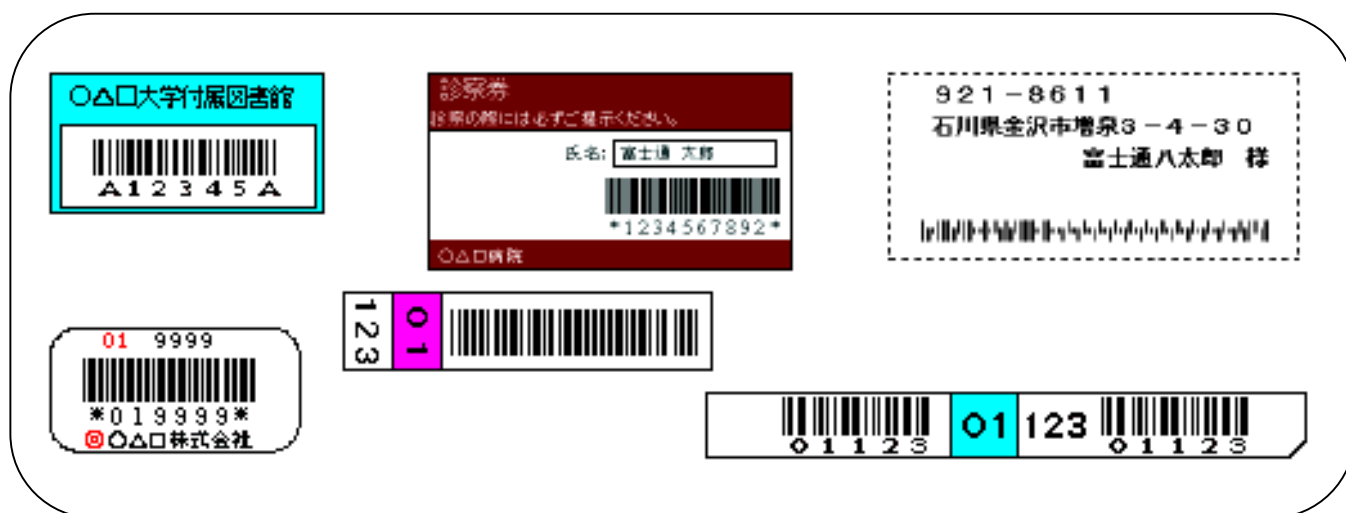


バーコード作成支援ツール

# かんたんバーコード

## Lite V1.4

### オンラインマニュアル



## もくじ

はじめに

インストールしてみよう

使ってみよう

いろいろなアプリケーションからの使い方

各バーコードの解説

「かんたんバーコード」のご紹介

著作権・商標

# はじめに

## 製品紹介

「かんたんバーコード Lite」は、Windows で手軽にバーコード印刷を行うことができるソフトウェアです。本ソフトウェアにより、Microsoft Word、OASYS、一太郎などの OLE 連携機能に対応したアプリケーションにバーコードを貼り付け、印刷することができます。

## 特徴

- ① OLE 連携機能により、使い慣れたアプリケーションでバーコード印刷ができます。
- ② 新郵便番号制度で使用するカスタマバーコードをはじめ、国内でよく使用される JAN、NW-7、Code3of9 など全 12 種類のバーコードをサポートしています。
- ③ バーコードの回転や下部文字の印刷など豊富なカスタマイズ機能をサポートしています。

本ソフトウェアは、「かんたんバーコード」の機能限定版製品となっています。「かんたんバーコード」は本ソフトウェアの機能に加え、以下の機能があります。

- バーコードブック作成機能をサポート
- Access 連携機能をサポート（Professional のみ）

# 必要なシステム構成

## 対応 OS

Windows 2000 (Service Pack 4 以降)

Windows XP

Windows Server 2003

Windows Vista

(いずれも日本語版)

## メモリ

32MB 以上を推奨

## 最小ディスク容量

2.1MB

(インストール時に作業用として10MB必要)

## 必須ソフトウェア

OLE2 連携可能なアプリケーション

(Microsoft Word、OASYS、一太郎など)

## プリンタ装置

印刷解像度が300dpi以上のプリンタ装置

## 注意事項

本ソフトウェアを使用する際の注意事項を以下に示します。

- ① バーコードを作成する場合は、事前に読み取り可能かチェックを行ってください。読み取り精度が低い場合はバーコード幅を変更し、一番読み取り率の高いものを使用するようにしてください。
- ② 印刷時はトナーが十分濃いものを使用してください。印刷結果が薄いと読み取り率が低下します。
- ③ バーコードの左右には 10mm 以上の余白をとってください。
- ④ バーコードの幅が小さい場合は、バーコード下部の文字が印刷されない場合があります。バーコード幅を大きくすることにより文字が印刷されます。
- ⑤ アプリケーションに貼り付けたバーコードをマウスなどのドラッグにより拡大・縮小するとバーコードの読み取り精度が極端に低下します。バーコード幅の変更は、必ずバーコードデータ入力画面の描画範囲の値を変更することにより行ってください。

# インストールしてみよう

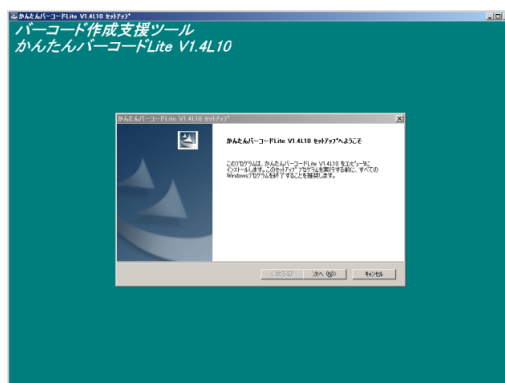
本ソフトウェアを使用するには、パソコンに本ソフトウェアをインストールする必要があります。なお、アンインストール（削除）はコントロールパネルより行います。

## インストール方法

**Step 1.**パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。

**Step 2.**プリンタに添付されている装置に添付のCD-ROM をパソコンのCD-ROM ドライブにセットします。

**Step 3.**表示されたインストーラ画面の「かんたんバーコード Lite」をクリックします。  
本ソフトウェアのインストーラが起動され、以下の画面が表示されます。



※ご使用の装置によっては、インストーラのメニューが階層になっている場合があります。メニューの詳細については、プリンタに添付される取扱説明書をご覧ください。

※インストーラが起動しない場合や、インストーラ画面

に「かんたんバーコード Lite」が表示されない場合は、エクスプローラなどから、以下のプログラムを実行してください。

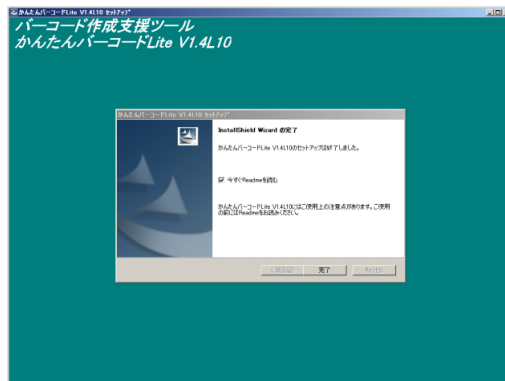
CD-ROM ドライブが D に設定されている場合、

D:¥Barcode¥setup.exe

なお、Windows Vista の場合は、マウスで右クリックし、「管理者として実行」を選択してください。

**Step 4.**以降は、画面の指示に従ってインストールを行います。

**Step 5.**以下の画面が表示されるとインストールは終了です。完了ボタンをクリックしてください。



# 使ってみよう

ここでは、本ソフトウェアの起動方法、および操作方法について説明しています。

## 起動方法

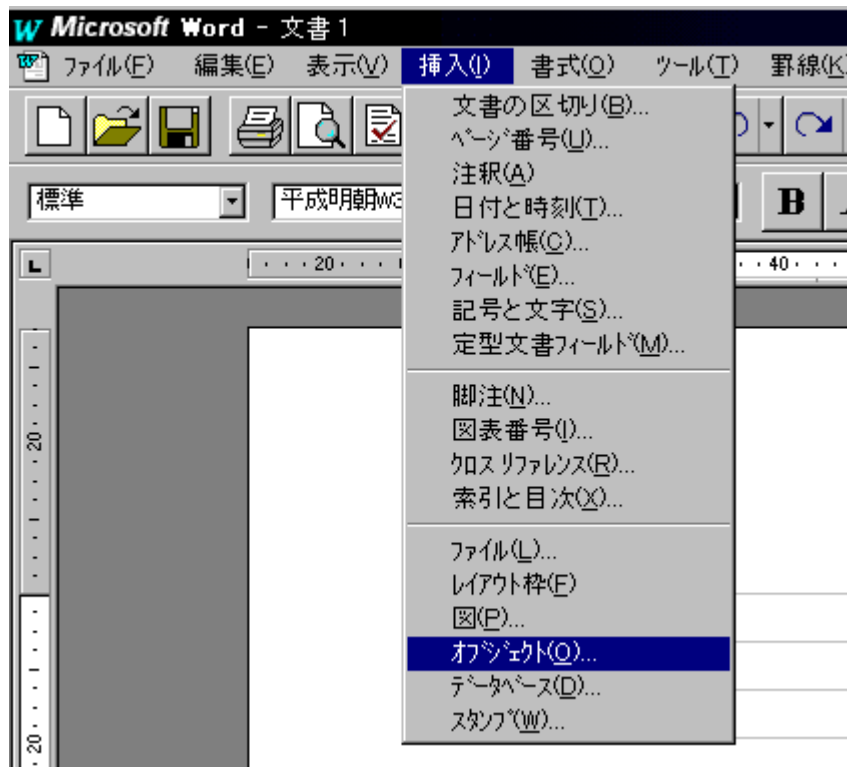
ここでは Microsoft Word 文書にバーコードを貼り付ける場合を例に、起動方法を説明します。各アプリケーションの起動方法についてはいろいろなアプリケーションからの使い方、または各アプリケーションマニュアルの“オブジェクトの挿入”、または“オブジェクトの作成”などの項を参照してください。

**Step 1.** バーコードを貼り付けるアプリケーションを起動し、貼り付け対象の文書を開きます。

アプリケーションの起動や文書の開きかたについては、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

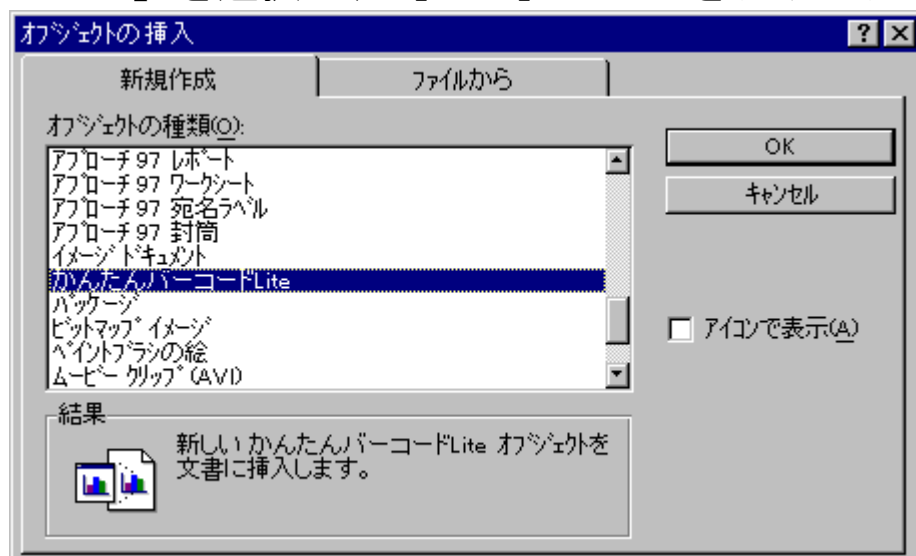
Step2 へ

**Step 2.** バーコードを貼り付けたい位置にカーソルを設定し、オブジェクトを作成します。  
[挿入]－[オブジェクト...]を選択します。



**Step 3.** 作成するオブジェクトの種類は「かんたんバーコード Lite」を選択します。

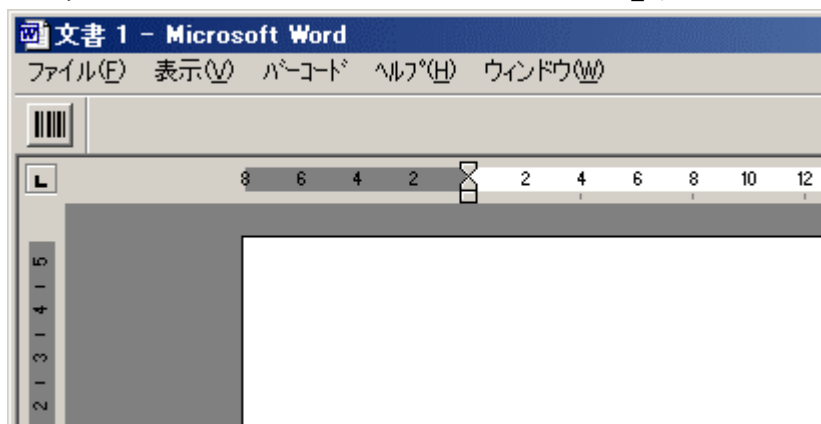
[オブジェクトの挿入] ウィンドウが表示されますので、新規作成タブでオブジェクト種類に「かんたんバーコード Lite」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



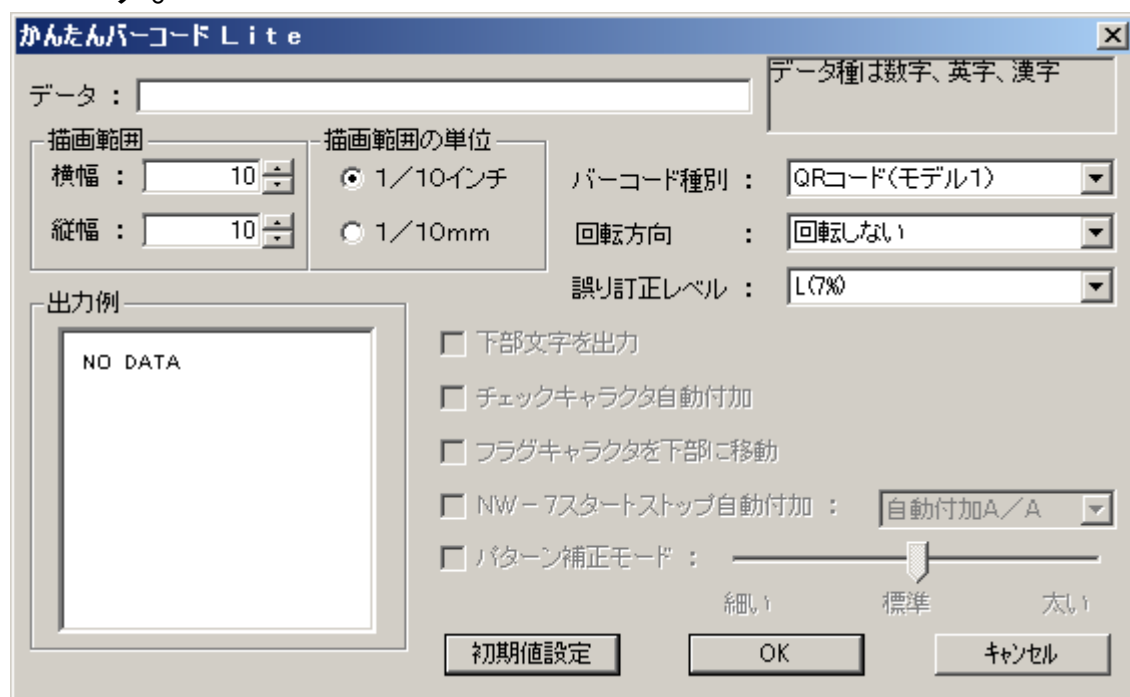
Step4 へ



**Step 4.**「かんたんバーコード Lite」が起動されます。  
アプリケーションのメニューおよびツールバーが下図の  
ように「かんたんバーコード Lite」用のものとなります。



**Step 5.**ツールバーのバーコードアイコン  をマウスでクリックします。  
下図のバーコードデータ入力用ウィンドウが表示されます。



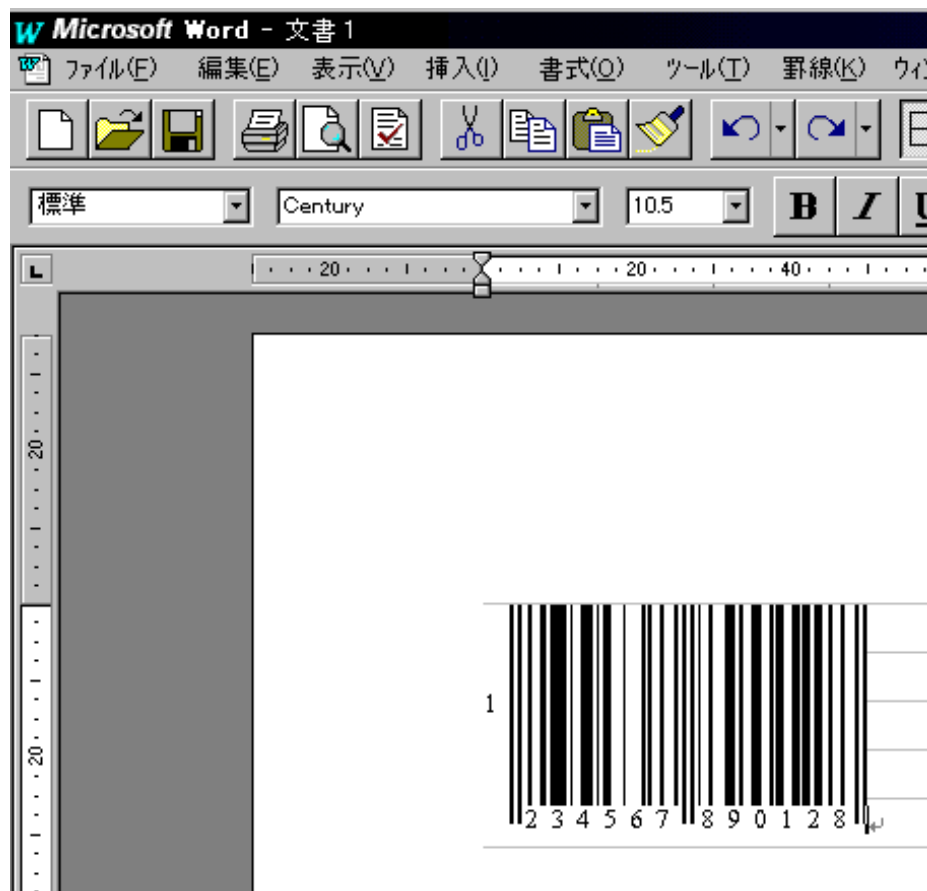
Step6へ

**Step 6.** 必要な項目を入力し、OKボタンをマウスでクリックします。

バーコードデータ入力用ウィンドウが消えます。バーコードデータ入力用ウィンドウの各項目の内容については、[操作方法](#)を参照してください。

**Step 7.** 文書中のバーコードが描画されている範囲以外の部分をマウスでクリックします。

「かんたんバーコード Lite」用のメニューおよびツールバーが元のアプリケーションのものに戻ります。



# 操作方法

ここではバーコード入力用ウィンドウの各項目の設定内容について説明します。

## データ

バーコードの文字データを入力する項目です。**バーコード種別**によっては入力できる文字が限られています。本項目の右に入力可能な文字データ種が表示されますので、入力の際の参考にしてください。

[次ページへ](#)

## データ種別ビュー

データに入力可能な文字データを表示します。

## 描画範囲（横幅／縦幅）

バーコードの描画範囲を指定します。単位は描画範囲の単位で設定したものとなります。なお、描画範囲の単位が 1/10 インチ単位の場合、入力可能範囲は 1 ～ 1 2 9、1/10mm 単位の場合、入力可能範囲は 1 ～ 3 2 7 6 です。

回転方向の設定により横幅／縦幅の意味が入れ替わりますので注意してください。詳細は回転方向を参照してください。

## 描画範囲の単位

バーコードの描画範囲の単位を指定します。1/10 インチ単位、1/10mm 単位のいずれかを選択します。

## バーコード種別

作成したいバーコードの種別を指定します。1 2 種類より選択します。サポートしているバーコード種別、および各バーコードの仕様については各バーコードの解説を参照してください。

[次ページへ](#)

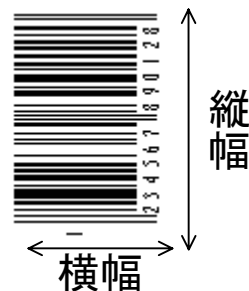
## 回転方向

作成するバーコードの回転方向を指定します。次の4種類より選択できます。また、各回転方向によって描画範囲の横幅／縦幅の意味が変わります。

①回転なし



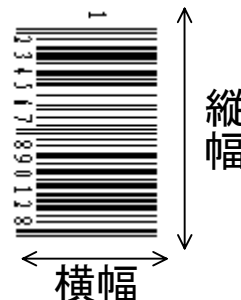
②反時計 90 度



③反時計 180 度



④反時計 270 度



## 誤り訂正レベル

バーコード種別が、QR コード（モデル1）、QR コード（モデル2）、QR コード（マイクロ）のときのみ指定が可能です。

バーコードの一部が損傷してもデータを損失することなく復元することができます。レベルが高くなるほど、復元率が高くなります。

指定できるレベルは以下の通りです。

| 誤り訂正レベル      |  | 誤り検出のみ | L<br>(7%) | M<br>(15%) | Q<br>(25%) | H<br>(30%) |
|--------------|--|--------|-----------|------------|------------|------------|
| バーコード種別      |  |        |           |            |            |            |
| QR コード（モデル1） |  | —      | ○         | ○          | ○          | ○          |
| QR コード（モデル2） |  | —      | ○         | ○          | ○          | ○          |
| QR コード（マイクロ） |  | ○      | ○         | ○          | ○          | —          |

## 出力例

指定されたデータでバーコードのプレビュー表示を行ないます。なお、バーコードの表示以外に以下のメッセージが表示されます。

「NO DATA」

- ・ データが指定されていません。

「LENGTH OF DATA IS TOO SHORT BY x」

- ・ 現在のバーコード種では、データの長さが x 文字足りません。

「LENGTH OF DATA IS TOO LONG BY x」

- ・ 現在のバーコード種では、データの長さが x 文字多すぎます。

「THE MISTAKE IS FOUND AT DATA OR THE LEVEL.」

- ・ 現在のバーコード種では、指定された誤り訂正レベルでデータを表現できません。

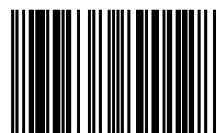
## 下部文字を出力

バーコードの下に入力した文字を表示するかを指定します。チェックすると下部文字を表示します。

①表示あり



②表示なし



[次ページへ](#)

## チェックキャラクタ自動付加

チェックキャラクタの自動付加を行うかを指定します。チェックキャラクタとは、バーコードリーダーで読み取ったバーコードデータが正しいものか判断するための数値データです。

## フラグキャラクタを下部に移動

バーコード種別がJAN標準の場合にのみ選択可能な項目です。バーコード左側の文字をバーコードの中央に表示するか、下部に表示するかを指定します。

### ①移動しない



### ②移動する



## NW-7スタートストップ自動付加

バーコード種別がNW-7の場合にのみ選択可能な項目です。指定したバーコードデータにスタート・ストップコードを自動的に付加するか否か、および自動付加するスタート・ストップコードを指定します。スタート・ストップコードは必ず必要ですので、自動付加指定を行う事を推奨します。もしも、指定しない場合にはデータ中にスタート・ストップを入力してください。

次ページへ

## パターン補正モード

作成したバーコードの黒バーの太さを変更します。作成したバーコードの読み取りがうまく行えない場合等に指定します。指定可能な太さは、標準（変更なし）、細い（標準×2／3）、太い（標準×4／3）の3種類であり、通常は標準で使用してください。

## 〔初期設定〕 ボタン

バーコード入力用ウィンドウに設定した各項目を次回からの初期値とします。ただし、データのみ初期値設定の対象外となります。

## 〔OK〕 ボタン

設定した各項目に従いバーコードを作成します。もし、設定値を初期値としたい場合にはOKボタンをクリックする前に初期値設定ボタンをクリックしてください。

## 〔キャンセル〕 ボタン

設定した各項目を無効にします。キャンセル後、再度バーコード入力用ウィンドウを表示させた場合は前回までの設定値で各項目が表示されます。



# いろいろなアプリケーション からの使い方

ここでは、以下に示すアプリケーションからの本ソフトウェアの起動方法、および注意事項について説明しています。その他のアプリケーションについては、各アプリケーションマニュアルやヘルプの“オブジェクトの挿入”、または“オブジェクトの作成”などの項を参照してください。

- Microsoft Word
- OASYS
- 一太郎

## Microsoft Word

### 起動方法

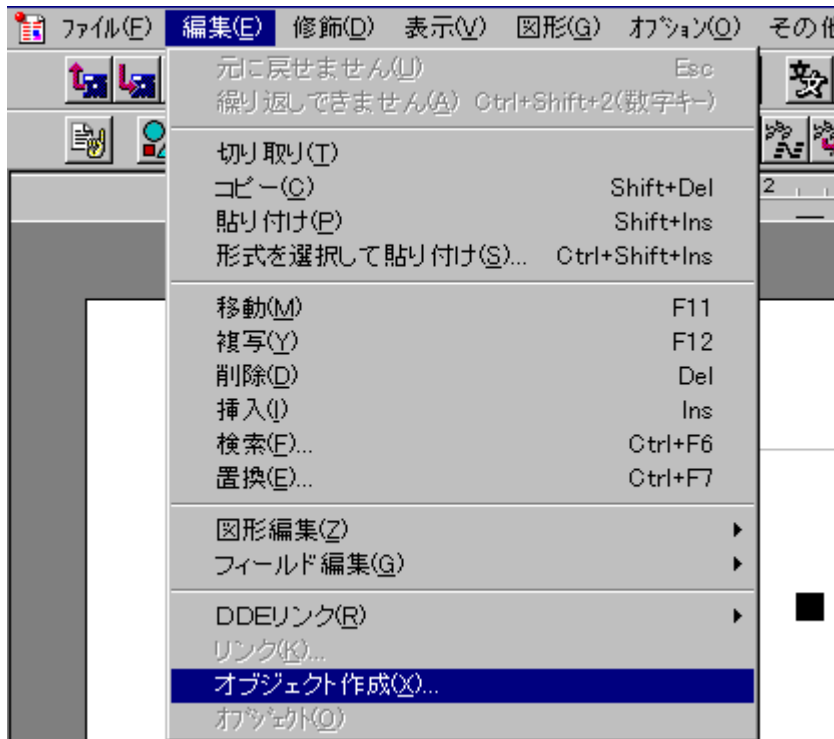
Microsoft Word の起動方法について、[起動方法](#)を参照してください。

[次ページへ](#)

# OASYS

## 起動方法

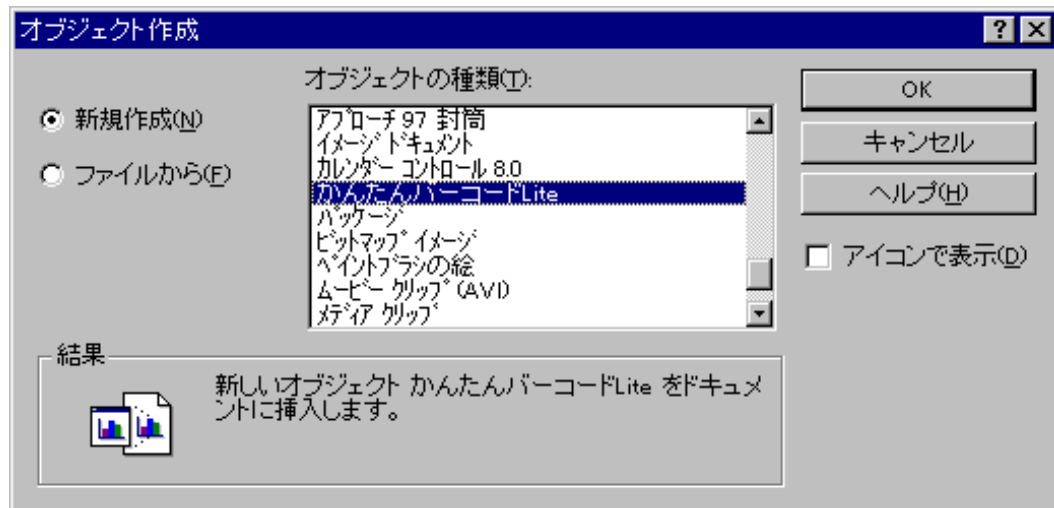
- ① 文書中のバーコードを貼り付けたい位置にカーソルを設定し、オブジェクトを作成します。  
[編集] - [オブジェクト作成...] を選択します。



次ページへ

②作成するオブジェクトの種類は「かんたんバーコード Lite」を選択します。

「オブジェクト作成」ウィンドウが表示されますので、新規作成を選択し、オブジェクトの種類に「かんたんバーコード Lite」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



③「かんたんバーコード Lite」が起動されます。以降は Microsoft Word と同一の操作となりますので、**起動方法の Step4 以降**を参照してください。

次ページへ

## 注意事項

OASYS では、貼り付けたバーコードの大きさが本ソフトウェアの画面で指定した横幅・縦幅通りの大きさにならないことがあります。この場合の対処方法は次の通りです。

- ①本ソフトウェアの画面上で、希望の描画範囲（横幅・縦幅，描画単位）を入力し、初期値設定ボタンをクリックします。
- ②キャンセルボタンをクリックします。
- ③OASYS の編集画面上において、オブジェクトを貼り付ける範囲を指定せずに、メニューバーの[編集]から[オブジェクト作成]を選択します。範囲を選択してしまうと、貼り付けられるバーコードの大きさはそれに従います。
- ④本ソフトウェアの画面上で、貼り付けるバーコードを指定します。このとき、描画範囲（横幅・縦幅，描画単位）を変更しても無効となります。

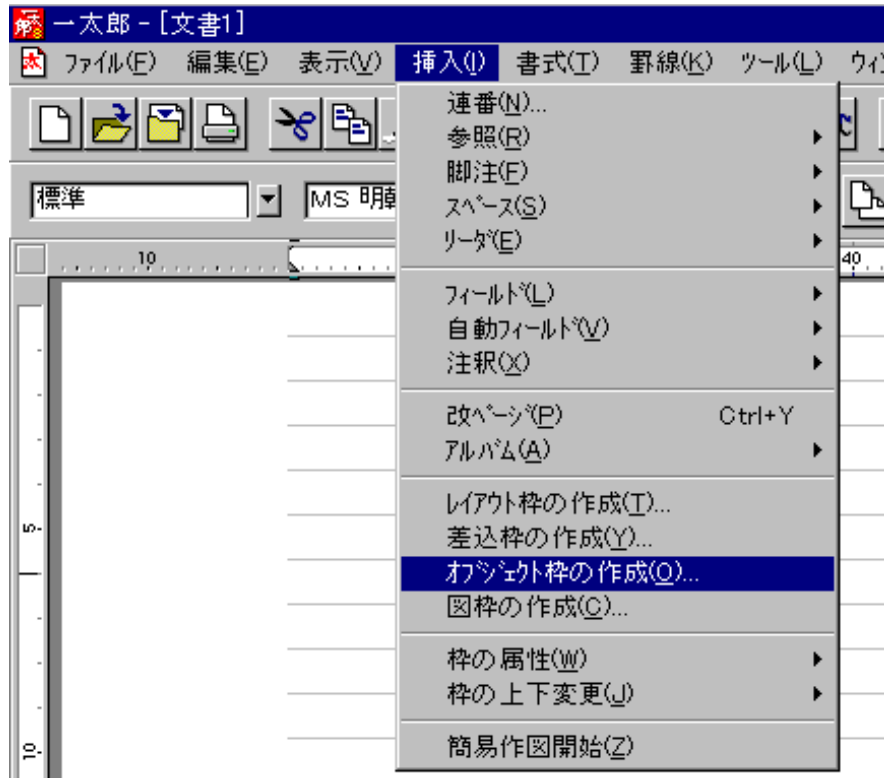
バーコードの大きさを変える場合には上記①～④の操作を繰り返してください。

[次ページへ](#)

# 一太郎

## 起動方法

- ①文書中のバーコードを貼り付けたい位置にカーソルを設定し、オブジェクトを作成します。  
[挿入]－[オブジェクト枠の作成...]を選択します。



次ページへ

②作成するオブジェクトの種類は「かんたんバーコード Lite」を選択します。

「オブジェクト枠の作成」ウィンドウが表示されますので、新規作成タブを選択し、オブジェクトの種類に「かんたんバーコード Lite」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



③「かんたんバーコード Lite」が起動されます。以降は Microsoft Word と同一の操作となりますので、**起動方法の Step4 以降**を参照してください。

## 注意事項

一太郎 8 での使用は制限とさせていただきます。一太郎 8 にバーコードを貼り付けるとバーコードパターンが細くなってしまうため読み取りが行えなくなります。

# 各バーコードの解説

ここでは、本ソフトウェアでサポートしている以下のバーコードの仕様・注意事項について解説します。

- JAN 標準
- JAN 短縮
- Code 3 of 9
- Industrial 2 of 5
- Interleaved 2 of 5
- NW-7
- UPC-A
- UPC-E
- カスタマ
- QR コード（モデル1）
- QR コード（モデル2）
- QR コード（マイクロ）

## JAN標準

### 主な用途

国際的な規格のPOSシンボルです。多くの商品に使用されています。

### 指定可能データ

文字種：0～9

文字数：12文字固定

### 注意事項



- ①チェックキャラクタは自動的に付加されます。
- ②フラグキャラクタ(バーコード左端の文字データ)は、指定横幅内に表示されます。

## J A N 短縮



### 主な用途

J A N 標準の短縮版です。J A N 標準が印刷できないような小さい商品に向いています。

### 指定可能データ

文字種：0～9

文字数：7文字固定

### 注意事項

- ①チェックキャラクタは自動的に付加されます。

## Code 3 of 9



### 主な用途

英数字が表現でき、主に工業用として使用されています。

### 指定可能データ

文字種：0～9、A～Z、－（マイナス）、  
．（ピリオド）、空白、\$（ドル）、  
／（スラッシュ）、＋（プラス）、  
％（パーセント）

文字数：1～50文字



## 注意事項

- ①チェックキャラクタ付加の指定が可能です。

## Industrial 2 of 5



### 主な用途

古くから工業用として使用されている数字専用のバーコードです。

### 指定可能データ

文字種：0～9

文字数：1～50文字

## 注意事項

- ①チェックキャラクタ付加の指定が可能です。

## Interleaved 2 of 5



### 主な用途

Industrial 2 of 5と同様に工業用として使用されている数字専用のバーコードです。データ圧縮機能があります。

### 指定可能データ

文字種：0～9

文字数：1～50文字

[次ページへ](#)

## 注意事項

- ①チェックキャラクタ付加の指定が可能です。

## NW-7



### 主な用途

英数字が表現でき、コンピュータ機器等の特殊商品に使用されます。

### 指定可能データ

文字種：0～9、－（マイナス）、\$（ドル）、  
．（ピリオド）、／（スラッシュ）、  
：（コロン）、＋（プラス）

文字数：1～50文字（スタート・ストップコード  
の2文字を含む）

スタート・ストップコード：A～E、N、T、＊

## 注意事項

- ①スタート・ストップコードは自動付加機能を使用してください。

## UPC-A



### 主な用途

アメリカやカナダで広く使用されているPOSシンボルです。

次ページへ

## 指定可能データ

文字種： 0 ～ 9

文字数： 追加文字なし… 1 1 文字固定

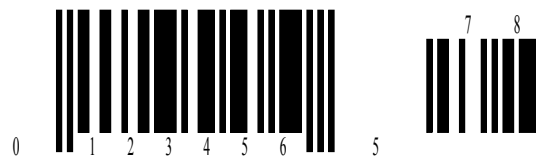
2 文字追加 … 1 3 文字固定

5 文字追加 … 1 6 文字固定

## 注意事項

- ① チェックキャラクタは自動的に付加されます。
- ② 追加文字なし、2 文字追加、5 文字追加の 3 種類が使用できます。
- ③ 追加文字がある場合は、追加文字も指定横幅内に収まるよう出力します。

## UPC-E



## 主な用途

UPC-A の短縮版です。UPC-A が印刷できないような小さな商品に向いています。

## 指定可能データ

文字種： 0 ～ 9

文字数： 追加文字なし… 7 文字固定

2 文字追加 … 9 文字固定

5 文字追加 … 1 2 文字固定

## 注意事項

- ① チェックキャラクタは自動的に付加されます。

次ページへ

- ②追加文字なし、2文字追加、5文字追加の3種類が使用できます。
- ③追加文字がある場合は、追加文字も指定横幅内に収まるよう出力します。

## カスタマ



### 主な用途

平成10年2月より実施されている新郵便番号対応のバーコードです。郵便番号と番地等を表すバーコードを郵便物の宛名部分に印刷します。

### 指定可能データ

文字種：0～9、A～Z、－（マイナス）

文字数：7～20文字

### 注意事項

- ①チェックキャラクタ、およびスタート・ストップコードは自動的に付加されます。
- ②カスタマバーコードの上下左右には必ず2mm以上の間隔を空けてください。
- ③横幅の指定値は必ず2.6～3.6インチ内としてください。範囲外の値を指定した場合は読取り保証出来ません。

次ページへ

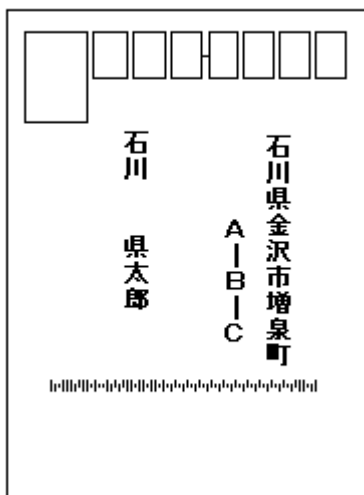
- ④宛名を横書きとした場合、カスタマバーコードは宛先氏名の直下に印刷してください。

|                                                                                   |  |  |  |  |  |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|
|                                                                                   |  |  |  |  |  |  |
| <b>921-02</b><br><b>石川県金沢市増泉町</b><br><b>A-B-C</b>                                 |  |  |  |  |  |  |
| <b>石川 県太郎</b>                                                                     |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

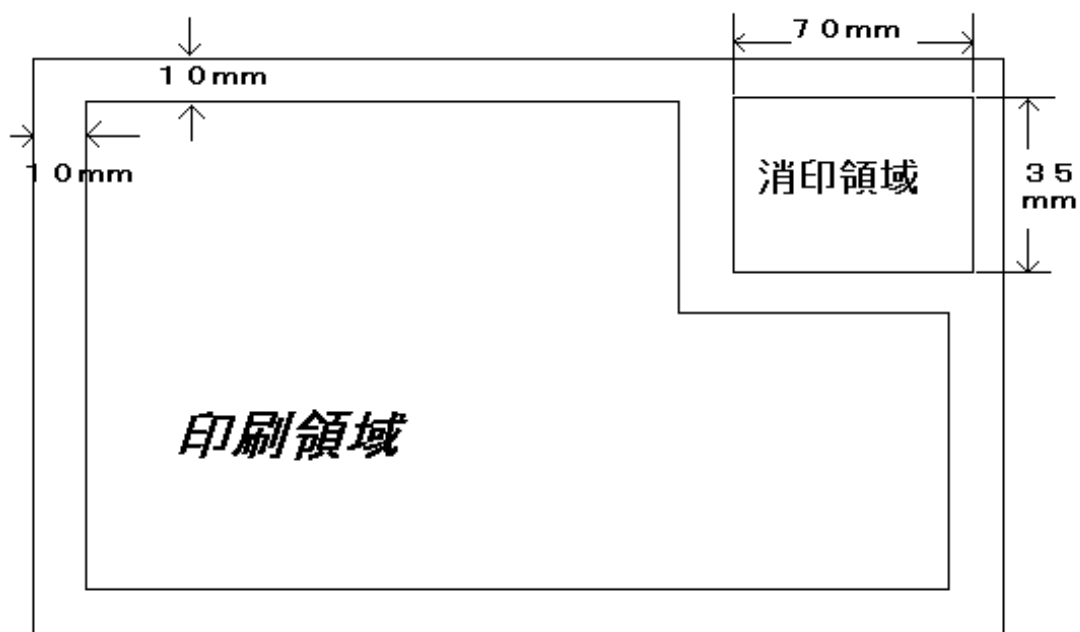
- ⑤宛名を縦書きとした場合、カスタマバーコードは宛名を印刷した箇所の左右、または下に印刷してください。

|                                                                                     |               |                                  |  |  |  |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------|----------------------------------|--|--|--|--|
|                                                                                     |               |                                  |  |  |  |  |
|  | <b>石川 県太郎</b> | <b>石川県金沢市増泉町</b><br><b>A-B-C</b> |  |  |  |  |

|                                                                                       |               |                                  |  |  |  |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------|----------------------------------|--|--|--|--|
|                                                                                       |               |                                  |  |  |  |  |
|  | <b>石川 県太郎</b> | <b>石川県金沢市増泉町</b><br><b>A-B-C</b> |  |  |  |  |



- ⑥カスタマバーコードは、郵便物の表面の縁から 10mm 及び消印領域（70mm×35mm）を除いた範囲内で印刷してください。



次ページへ

- ⑦カスタマバーコードを印刷する場合、回転角度に反時計 180 度と反時計 270 度は使用しないでください。読取り不可となる可能性があります。



## QR コード（モデル 1）

### 主な用途

高速読み取りを重視した 2 次元コードで多くの業界で使用されています。

### 指定可能データ

文字種：数字、英字、漢字（シフト JIS で 8140～9ffc、e040～ebbf の文字コード）

文字数：1～50 文字

※規格としては以下が規定されています。

#### ・QR コード（モデル 1）の JIS 規格

| 誤り訂正レベル<br>文字種 | L（7%）    | M（15%） | Q（25%） | H（30%） |
|----------------|----------|--------|--------|--------|
| 数字             | 最大 1,167 | 最大 877 | 最大 738 | 最大 498 |
| 英数字            | 最大 707   | 最大 531 | 最大 447 | 最大 302 |
| 漢字             | 最大 299   | 最大 225 | 最大 189 | 最大 127 |

### 注意事項

- ①誤り訂正レベルが指定できます。（L（7%）、M（15%）、Q（25%）、H（30%））

次ページへ

- ②文字種の組み合わせや指定した誤り訂正レベルによっては、最大文字数以内でも出力できない場合があります。
- ③QR コードの分割出力は、サポートしていません。



## QR コード（モデル2）

### 主な用途

モデル1よりも、より大量のデータに対応しています。また、バーコードの読み取り機能がついた携帯電話での読み取りも可能になっています。

### 指定可能データ

文字種：数字、英字、漢字（シフト JIS で 8140～9ffc、e040～ebbf の文字コード）

文字数：1～50文字

※規格としては以下が規定されています。

#### ・QR コード（モデル2）の JIS 規格

| 誤り訂正レベル<br>文字種 | L（7%）    | M（15%）   | Q（25%）   | H（30%）   |
|----------------|----------|----------|----------|----------|
| 数字             | 最大 7,089 | 最大 5,596 | 最大 3,993 | 最大 3,057 |
| 英数字            | 最大 4,296 | 最大 3,391 | 最大 2,420 | 最大 1,852 |
| 漢字             | 最大 1,817 | 最大 1,435 | 最大 1,024 | 最大 784   |

### 注意事項

- ①誤り訂正レベルが指定できます。（L（7%）、M（15%）、Q（25%）、H（30%））

次ページへ



- ②文字種の組み合わせや指定した誤り訂正レベルによっては、最大文字数以内でも出力できない場合があります。
- ③QR コードの分割出力は、サポートしていません。

## QR コード（マイクロ）



### 主な用途

モデル 1、モデル 2 よりもバーコードの大きさを小さくできます。ただし、表現できるデータ量は少なくなります。

### 指定可能データ

文字種：数字、英字、漢字（シフト JIS で 8140～9ffc、e040～ebbf の文字コード）

文字数： 1 ～ 5 0 文字

※規格としては以下が規定されています。

#### ・ QR コード（マイクロ）の JIS 規格

| 誤り訂正レベル<br>文字種 | 誤り検出のみ | L（7%） | M（15%） | Q（25%） |
|----------------|--------|-------|--------|--------|
| 数字             | 最大 5   | 最大 35 | 最大 30  | 最大 21  |
| 英数字            | —      | 最大 21 | 最大 18  | 最大 13  |
| 漢字             | —      | 最大 9  | 最大 8   | 最大 5   |

[次ページへ](#)

## 注意事項

- ①誤り訂正レベルが指定できます。（誤り検出のみ、L（7%）、M（15%）、Q（25%））
- ②文字種の組み合わせや指定した誤り訂正レベルによっては、最大文字数以内でも出力できない場合があります。

# 「かんたんバーコード」のご紹介

本ソフトウェアは「かんたんバーコード」の機能限定版製品となっております。ここでは「かんたんバーコード」のご紹介をします。

- 特徴
- 貼り付け機能
- バーコードブック作成
- Access 連携機能
- お問い合わせ先

本ソフトウェアをインストールしたパソコンで「かんたんバーコード」をご使用になる場合、またはその逆の場合は、最初にインストールされているソフトウェアを「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」より削除した上でご使用ください。

## 特徴

- 「かんたんバーコード」と「かんたんバーコード Professional」の2製品を用意しております。
- 「かんたんバーコード」では「貼り付け機能」と「バーコードブック作成」の2つのツールが、また「かんたんバーコード Professional」では、更に「Access 連携機能」の3つのツールがパッケージされており、用途に合わせてご使用いただけます。
- 「貼り付け機能」は普段から使い慣れているワープロや表計算ソフトでバーコードの表示、印刷が行えます。
- 「バーコードブック作成」では Microsoft Excel V7.0以降または Lotus1-2-3 R5.0J で作成した帳票データからバーコードブックやバーコードラベルが手軽に印刷できます。
- 「Access 連携機能」では Microsoft Access のデータベースと連携した高度なバーコード印刷機能を実現します。
- サポートしているバーコードは9種類と豊富です。もちろんカスタマバーコードもサポートしています。
- バーコード専用プリンタといった専用のプリンタを必要としません。

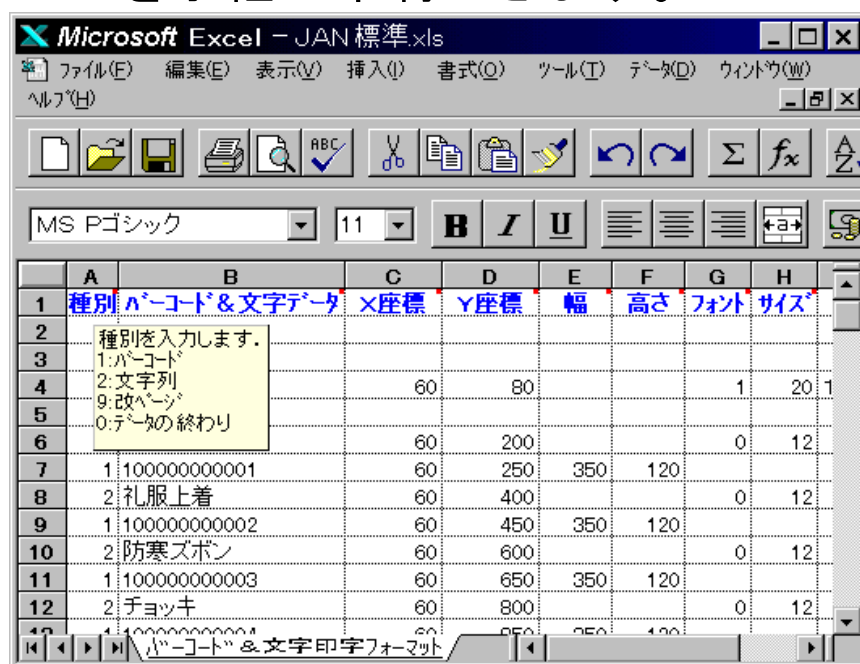
次ページへ

## 貼り付け機能

本ソフトウェアと同等の機能をもった製品です。

## バーコードブック作成

Microsoft Excel V7.0 以降または Lotus1-2-3 R5.0J で作成した帳票データからバーコードブックやバーコードラベルを手軽に印刷できます。



The screenshot shows the Microsoft Excel V7.0 interface with a file named 'JAN 標準.xls'. The menu bar includes 'ファイル(F)', '編集(E)', '表示(V)', '挿入(I)', '書式(O)', 'ツール(T)', 'データ(D)', and 'ウィンドウ(W)'. The toolbar contains icons for file operations and editing. The formula bar shows 'MS Pゴシック' and '11'. The spreadsheet has columns A through H. A yellow tooltip is visible over cell B2, listing instructions for barcode creation: '種別を入力します.', '1:バーコード', '2:文字列', '9:改ページ', and '0:データの終わり'. The data table below shows barcode information for various items.

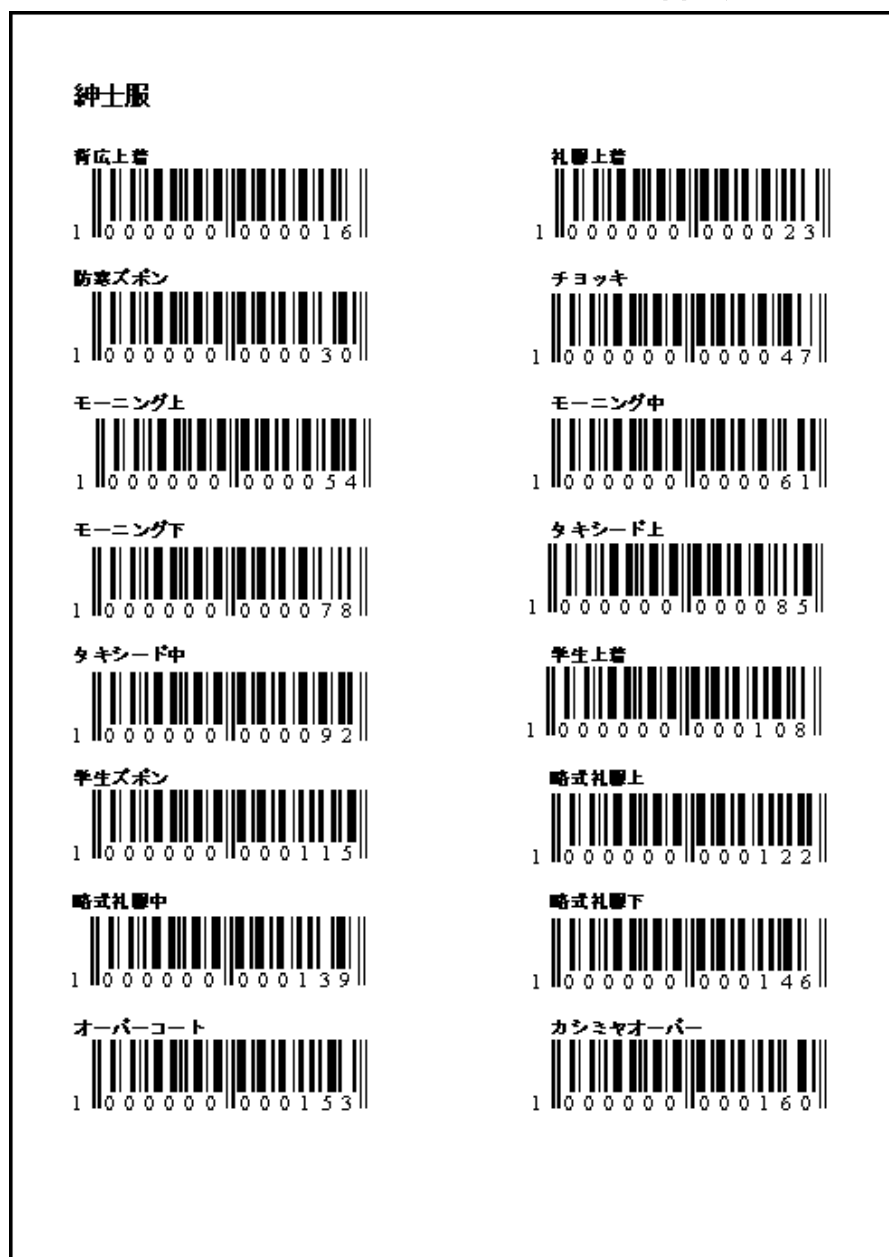
|    | A  | B             | C   | D   | E   | F   | G    | H   |
|----|----|---------------|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| 1  | 種別 | バーコード&文字データ   | X座標 | Y座標 | 幅   | 高さ  | フォント | サイズ |
| 2  |    | 種別を入力します.     |     |     |     |     |      |     |
| 3  |    | 1:バーコード       |     |     |     |     |      |     |
| 4  |    | 2:文字列         | 60  | 80  |     |     | 1    | 20  |
| 5  |    | 9:改ページ        |     |     |     |     |      |     |
| 6  |    | 0:データの終わり     | 60  | 200 |     |     | 0    | 12  |
| 7  | 1  | 1000000000001 | 60  | 250 | 350 | 120 |      |     |
| 8  | 2  | 礼服上着          | 60  | 400 |     |     | 0    | 12  |
| 9  | 1  | 1000000000002 | 60  | 450 | 350 | 120 |      |     |
| 10 | 2  | 防寒ズボン         | 60  | 600 |     |     | 0    | 12  |
| 11 | 1  | 1000000000003 | 60  | 650 | 350 | 120 |      |     |
| 12 | 2  | チョッキ          | 60  | 800 |     |     | 0    | 12  |

帳票データ

次ページへ



## バーコードブック作成



印刷結果例

次ページへ

## Access 連携機能

Microsoft Access97 以降のレポートにバーコードを貼り付けることにより、データベースと連携した高度なバーコード入りラベルや帳票印刷を実現します。



レポートへの貼り付け

次ページへ

## お問い合わせ先

「かんたんバーコード」の詳細や購入に関するお問い合わせは以下までお願いいたします。

株式会社富士通北陸システムズ

住所 〒921-8611 石川県金沢市増泉 3-4-30

電話 076-244-9575

FAX 076-241-4590

E-mail [fjh-barcode@cs.jp.fujitsu.com](mailto:fjh-barcode@cs.jp.fujitsu.com)

URL <http://jp.fujitsu.com/group/fjh/>

電話によるお問い合わせは次の時間をお願い致します。

月～金、9：00～17：30

（祝日・年末年始等の当社休日除く）



# 著作権・商標

- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、**米国** Microsoft Corporation の**米国およびその他の国**における登録商標です。
- Lotus 、 1-2-3 は 、 **米 国** Lotus Development Corporation の登録商標です。
- 一太郎は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

---

「かんたんバーコード Lite」

オンラインマニュアル

発行日 2007年9月（第9版）

発行責任 株式会社富士通北陸システムズ

---

- 本書の一部または全部を無断で他に転載しないよう、お願いいたします。
- 本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、侵害については、当社はその責を負いません。